

《当JAにおける自己改革への取り組み状況について》

第4次中期経営計画書（13～15P）に記載している、平成31年度（令和元年度）のJA自己改革への取り組み内容をお知らせいたします。

令和元年9月末現在

(2) 経営の強化

① 役員選出要件の見直し（総務課）

役員選出要件を見直し、令和元年6月開催の総代会で以下の要件を満たす新たな役員が選任されました。

- ア. 認定農業者
 - イ. 認定農業者に準ずる者
 - ウ. 実践的能力者
- ※学識経験者・女性理事を除く

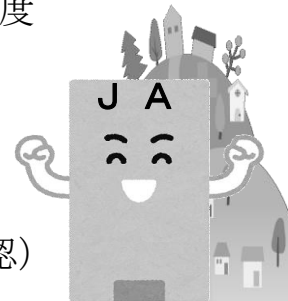


(3) 財務の強化

① 施設整備積立金の積み増し等

老朽化した施設や設備の更新等に備えるために今年度は1億円を積み立てました。

（現在の積立額4億円。第16回通常総代会にて承認）
また、新たに農産物の被害や価格低迷・生産資材の高騰時などに組合員の農業経営を支援するための対策資金として農家支援対策積立金が新設されました。
（現在の積立金5,000万円。第16回通常総代会にて承認）



② 自己資本の充実に向けて… （固定比率110%以上を維持）

令和元年9月末において115.4%と110%以上を維持しております。今後も自己資本の充実に向けて、役職員一同、総力を挙げて取り組みます。



◆ 経営理念 ◆

地域農業を守り育み、地域と農業のかけはしとなり
地域社会のゆたかな未来へ貢献します。

「拓き」「はぐくみ」地域の未来へ…

つがる弘前農業協同組合

〒036-8522青森県弘前市大字城東北4丁目1の1
TEL (0172) 28-1111 FAX (0172) 28-3699
<http://www.ja-tu-hirosaki.jp/>



1. 農業者の所得増大

(1) 生産コスト削減

① 特別価格品目の設定（購買課）

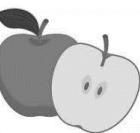
肥料の予約申込時に特別価格5品目を設定し、1袋当たり70円～260円安く提供しました。
今後も良質で低コスト資材の提供に取り組みます。



(2) 農産物販売力の強化

① りんご輸出向け出荷の拡大（りんご課）

9月中旬に、これまで出荷していなかった太陽つがる（葉とらずつがる）1,008ケースを台湾へ出荷しました。
また、昨年に続きトキ・王林のピンコ（小さいりんご）を集荷し輸出の拡大に努めます。



② 園芸作物の販売金額増大（指導課・園芸課）

「園芸推進品目新規出荷者獲得運動」を実施し、新規出荷者75人が増加となりました。
（ミニトマト7人、ピーマン37人、にんにく19人、桃12人）
販売金額については、ミニトマトは全国的に量が多かったことにより前年同期比82.6%でしたが、ピーマンは120.1%、桃は157.1%、にんにくは125.9%と堅調に推移しました。



③ 「JAつがる弘前米」の戦略的な販売（直販課）

県外の学校給食会へプレゼンテーションなどを実施し、「JAつがる弘前米」のPR活動を行い売り先を確保しました。
今後も量販店などへ対するPR活動を強化し、販売数量の増加に努めます。



(3) 利益の還元

① 配当の実施

出資配当金として2,267万円、事業分量配当金として7,500万円を配当しました。
今年度も組合員の皆さまに利益還元できるよう取り組みます。

2. 地域の活性化

(1) 暮らしの活動の拡大

① 食農教育活動の実施 (総務課)

管内6小学校、1児童センターの児童を対象に野菜の作付と収穫体験を実施。うち5校は全学年で取り組みました。また米穀係と連携し「米」についての授業を行いました。今後も子供たちが「食」と「農」にふれあう機会を提供していきます。



② 健康管理活動の推進 (総務課)

人間ドックを多くの皆さまに受診していただけるように、開始時期を5月から4月へ変更しました。今後も、健康で農作業が行えるよう、健康診断の受診率向上に努めます。



③ 各直売所でイベントを開催！ 新たに「つがる弘前軽トラ市」開催！ (直販課)

◎各直売所でイベントを4回開催しました。下半期も3回のイベントを計画しています。
◎今年度は新たに「つがる弘前軽トラ市」を開催しました。15店舗が出店し地域の皆さまにJAと地場産品のおいしさをPRしました。上半期で3回、下半期で2回開催します。



軽トラ市開催！
「生産者の顔が見えます」



果実詰め放題！
「たくさん詰めてね」



3. 組織・経営力の発揮

(1) 組織の強化

① 支店運営委員会の新設 (総務課)



組織・地域の活性化に向け、支店運営委員による意見・要望を話し合いました。さまざまな提案を通じて、地域に貢献できるJAを目指します。

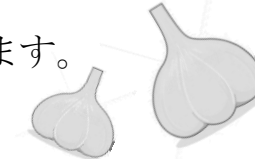
② 新規就農に向けた支援 (農業振興課)

新規就農希望者の方へ、経営計画の立て方や、作付品目の選定アドバイス、栽培技術の相談などを行いました。今後も新規就農に向けた支援活動に取り組みます。



③ 作業受託の推進 (指導課)

今年度の作業受託は、にんにくの種子生産、乾燥・選果作業、植付け作業を行いました。今後も生産者の労力軽減を図るため、営農支援を行います。



④ 農作業の労力確保 (農業振興課)

JAつがる弘前無料職業紹介事業において、8件の雇用契約が成立しました。また、援農ボランティアとして企業2社から16人を受け入れ、6農家に紹介しました。今後も当JA広報誌において求人募集を行うとともに、管内5市町村広報誌への募集広告掲載による求職募集を継続し、労力確保に努めます。



⑤ 農業簿記・記帳代行サービス (農業振興課)

平成27年度より開始した記帳代行サービスは、令和元年9月末現在で304人の皆さまにご利用いただいております。今後も、農作業で忙しい皆さまに代わり、日々の農業経営に係る取引記帳を代行し、支援に努めます。



～記帳代行サービスとは～

- ・JAが組合の皆さまに代わり日々の農業経営に係る領収書等の取引を青色申告に対応する複式簿記で記帳する取り組みです。
- ・記帳代行の利用料は「経費」に算入できます。

